

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-1

| | | | | | | |
|----------|------|-------------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 01 | 02 | 01 |
| 細事業名 | | 放課後児童健全育成事業 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井一弘 |
| 担当者の氏名 | 堀 敏郎 |

| PLAN | |
|------------------|--|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 1 子育てと仕事の両立支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 保護者の就労等により、放課後等の家庭保育に欠ける小学校1年生～3年生の児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 児童の健全育成を図るとともに、保護者に対し仕事と子育ての両立支援 |

| DO | |
|-------------|---|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 保護者の就労等により、放課後等の家庭保育に欠ける小学校1年生～3年生の児童を対象に、市内全域に設置した施設において、主任指導員及び指導員を配置し、適切な遊びや生活の場を提供することにより、保護者の仕事と子育ての両立を支援した。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 吉原放課後児童クラブを新たに開設し、児童に適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成を図ることができた。保護者に対しては仕事と子育ての両立支援を図ることができた。 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|-------|--------|---------|------------------|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| 財源内訳 | 4・7 | 22,127 | 国庫支出金 | のびのび育つ子ども応援事業補助金 | 11,006 |
| | 11 | 4,126 | 府支出金 | のびのび育つ子ども応援事業補助金 | 1,795 |
| | 12 | 1,336 | 起債 | | |
| | 13 | 36,073 | 分担金・負担金 | | |
| | 14 | 10 | その他 | 放課後児童健全育成事業利用 | 16,383 |
| | 15 | 1,418 | | 久美浜有線放送電気代等負担 | 436 |
| | 16・18 | 221 | | | |
| | 19・27 | 412 | 一般財源 | | 36,103 |
| 事業費合計 | | 65,723 | 合計 | | 65,723 |

| CHECK | | | | | |
|---------------------|--|--|----|--|---------------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成16年度65人であった利用児童数が、平成21年度で300人を超える児童数となっており、平成26年度目標の170人を既に達成している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 | 平成16年度65人であった利用児童数が、平成21年度で300人を超える児童数となっており、平成26年度目標の170人を既に達成している。 | ▲ 少し遅れている(少しできていない) |
| ○ 進捗している(できている) | 理由 | 平成16年度65人であった利用児童数が、平成21年度で300人を超える児童数となっており、平成26年度目標の170人を既に達成している。 | | | |
| ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | | |
| × 遅れている(できていない) | | | | | |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">開設箇所も増え、多くの経費が必要となる中、コスト削減も意識しながら事業を実施した。現状でコストの削減を考えるなら、児童の送迎に多くの費用がかかっていることも事実であり、小学校の利用又は学校から歩いていける範囲で実施をすることで送迎にかかる費用を引下げることができる。引き続き、小学校での開設が検討課題である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 開設箇所も増え、多くの経費が必要となる中、コスト削減も意識しながら事業を実施した。現状でコストの削減を考えるなら、児童の送迎に多くの費用がかかっていることも事実であり、小学校の利用又は学校から歩いていける範囲で実施をすることで送迎にかかる費用を引下げることができる。引き続き、小学校での開設が検討課題である。 | ▲ 少し削減の余地があった |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 開設箇所も増え、多くの経費が必要となる中、コスト削減も意識しながら事業を実施した。現状でコストの削減を考えるなら、児童の送迎に多くの費用がかかっていることも事実であり、小学校の利用又は学校から歩いていける範囲で実施をすることで送迎にかかる費用を引下げることができる。引き続き、小学校での開設が検討課題である。 | | | |
| ▲ 少し削減の余地があった | | | | | |
| × 削減の余地があった | | | | | |

| ACTION | | | | | |
|-------------|--|---|----|---|----------|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">高まるニーズに対応するため、対象児童を4年生までとし、また土曜日の開設や時間の延長など新たにサービス拡充をおこなった。現在の施設でこれ以上のサービスの拡充は難しく、現状の中で、それぞれの施設、また運営体制など課題を精査し、経費の抑制等も考慮しながら効率的に事業が実施できるよう進めていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table> | A 現状維持 | 理由 | 高まるニーズに対応するため、対象児童を4年生までとし、また土曜日の開設や時間の延長など新たにサービス拡充をおこなった。現在の施設でこれ以上のサービスの拡充は難しく、現状の中で、それぞれの施設、また運営体制など課題を精査し、経費の抑制等も考慮しながら効率的に事業が実施できるよう進めていく必要がある。 | B 内容の見直し |
| A 現状維持 | 理由 | 高まるニーズに対応するため、対象児童を4年生までとし、また土曜日の開設や時間の延長など新たにサービス拡充をおこなった。現在の施設でこれ以上のサービスの拡充は難しく、現状の中で、それぞれの施設、また運営体制など課題を精査し、経費の抑制等も考慮しながら効率的に事業が実施できるよう進めていく必要がある。 | | | |
| B 内容の見直し | | | | | |
| C 統廃合・休止・終了 | | | | | |
| 改善 | 事業規模の方向性 | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">年々、利用希望児童数が増加する中、施設を増やさざるを得ないことも十分に考えられるが、今後、学校統廃合や児童数の動きなども考えながら、効率的に事業を進めていくことが必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table> | A 事業拡大 | 理由 | 年々、利用希望児童数が増加する中、施設を増やさざるを得ないことも十分に考えられるが、今後、学校統廃合や児童数の動きなども考えながら、効率的に事業を進めていくことが必要である。 | B 現状維持 |
| A 事業拡大 | 理由 | 年々、利用希望児童数が増加する中、施設を増やさざるを得ないことも十分に考えられるが、今後、学校統廃合や児童数の動きなども考えながら、効率的に事業を進めていくことが必要である。 | | | |
| B 現状維持 | | | | | |
| C 事業縮小 | | | | | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-2

| | | | | | | |
|----------|------|-----------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 03 | 02 | 01 |
| 細事業名 | | 保育所管理運営事業 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井一弘 |
| 担当者の氏名 | 福尾昌信 |

| PLAN | |
|------------------|--|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 1 子育てと仕事の両立支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 保護者の労働及び疾病などにより保育に欠ける就学前児童の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に推進する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 保護者の就労形態の変化に伴う保育ニーズの多様化に対応するため、延長保育や低年齢児保育の充実、また、保育所運営の効率化を図るため、一部保育所の民営化を図り、これにあわせて休日保育、夜間延長保育などの取組を行う。 |

| DO | |
|-------------|--|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 28保育所において、保護者の就労等により家庭での保育に欠ける児童の保育の充実を図るため、保育材料、給食補助材料を購入するとともに、児童の健康管理のための器具や施設の維持管理を行うなどその運営に努めた。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) H21年度は、丹後保育所と豊栄保育所を統合し、あらたに丹後こども園を開設し、更に幼保一体化運営を行うなど、施設管理の効率化を図った。 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | | |
|-------|----|---------|------|---------|----------|---------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) | |
| 予算科目 | 11 | 194,304 | 財源内訳 | 国庫支出金 | | |
| | 12 | 4,928 | | 府支出金 | | |
| | 13 | 9,731 | | 起債 | | |
| | 14 | 1,439 | | 分担金・負担金 | 保育料現年度分 | 203,342 |
| | 15 | 3,426 | | その他 | 保育所職員給食費 | 15,849 |
| | 16 | 215 | | | 幼稚園給食費 | 361 |
| | 18 | 5,509 | | | | |
| 事業費合計 | | 219,552 | 一般財源 | | 0 | |
| | | | 合計 | | 219,552 | |

| CHECK | | | | | |
|---------------------|---|--|----|--|---------------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">保育所再編等推進計画に基づき、保育所の統廃合を行うとともに、市立保育所の社会福祉法人化についてのガイドラインに沿った民営化運営(社会福祉法人の選定)について実施され、効率化が図られている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 | 保育所再編等推進計画に基づき、保育所の統廃合を行うとともに、市立保育所の社会福祉法人化についてのガイドラインに沿った民営化運営(社会福祉法人の選定)について実施され、効率化が図られている。 | ▲ 少し遅れている(少しできていない) |
| ○ 進捗している(できている) | 理由 | 保育所再編等推進計画に基づき、保育所の統廃合を行うとともに、市立保育所の社会福祉法人化についてのガイドラインに沿った民営化運営(社会福祉法人の選定)について実施され、効率化が図られている。 | | | |
| ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | | |
| × 遅れている(できていない) | | | | | |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">保育所統廃合、保育所運営業務の委託、給食調理業務の民間委託などを実施し保育事業全体のコスト節減に努めている。また、保育の実施について、正規職員で不足する人員は、臨時職員により対応している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 保育所統廃合、保育所運営業務の委託、給食調理業務の民間委託などを実施し保育事業全体のコスト節減に努めている。また、保育の実施について、正規職員で不足する人員は、臨時職員により対応している。 | ▲ 少し削減の余地があった |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 保育所統廃合、保育所運営業務の委託、給食調理業務の民間委託などを実施し保育事業全体のコスト節減に努めている。また、保育の実施について、正規職員で不足する人員は、臨時職員により対応している。 | | | |
| ▲ 少し削減の余地があった | | | | | |
| × 削減の余地があった | | | | | |

| ACTION | | | | | | | | |
|--------|---|----|---|----|---|--|----------|--|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">社会情勢の変化に伴い保育ニーズは多様化してくるため、保育内容の充実、合わせて施設の拡充等に取り組む必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table> | B | A 現状維持 | 理由 | 社会情勢の変化に伴い保育ニーズは多様化してくるため、保育内容の充実、合わせて施設の拡充等に取り組む必要がある。 | | B 内容の見直し | |
| B | A 現状維持 | 理由 | 社会情勢の変化に伴い保育ニーズは多様化してくるため、保育内容の充実、合わせて施設の拡充等に取り組む必要がある。 | | | | | |
| | B 内容の見直し | | | | | | | |
| | C 統廃合・休止・終了 | | | | | | | |
| 改善 | 事業規模の方向性 | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">多様化する保育ニーズに対応するため、保育内容の充実、統廃合、民営化の推進の必要性は高い。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table> | A | A 事業拡大 | 理由 | 多様化する保育ニーズに対応するため、保育内容の充実、統廃合、民営化の推進の必要性は高い。 | | B 現状維持 | |
| A | A 事業拡大 | 理由 | 多様化する保育ニーズに対応するため、保育内容の充実、統廃合、民営化の推進の必要性は高い。 | | | | | |
| | B 現状維持 | | | | | | | |
| | C 事業縮小 | | | | | | | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-3

| | | | | | | |
|----------|------|----------------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 03 | 02 | 01 |
| 細事業名 | | 保育所管理運営事業(繰越分) | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井 一弘 |
| 担当者の氏名 | 友松 尚文 |

| PLAN | |
|------------------|--|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 1 子育てと仕事の両立支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 老朽化した旧保育所施設を解体撤去し、地域環境の整備を行った。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) |

| DO | |
|-------------|--|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 平成16年3月末をもって廃止した旧周積保育所については、老朽化が著しく、また、今後の利用計画が無いことから、解体撤去工事を実施した。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 老朽化した旧保育所施設を撤去したことにより、地域の環境整備につながり、地元区からの借地であった敷地も、地元区の要望に応じて返還する事ができた。 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|----|--------|------|---------|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| 事業費合計 | 12 | 126 | 財源内訳 | 国庫支出金 | |
| | 13 | 840 | | 府支出金 | |
| | 15 | 4,493 | | 起債 | |
| | | | | 分担金・負担金 | |
| | | | その他 | | |
| | | | 一般財源 | 5,459 | |
| 事業費合計 | | 5,459 | 合計 | | 5,459 |

| CHECK | |
|-------|--|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか |
| | <input type="radio"/> 進捗している(できている) <input type="radio"/> ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 <input type="radio"/> × 遅れている(できていない) |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか |
| | <input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input type="radio"/> ▲ 少し削減の余地があった 理由 <input type="radio"/> × 削減の余地があった |

| ACTION | |
|--------|-------------|
| 改善 | 事業内容の方向性 |
| | A 現状維持 |
| | B 内容の見直し |
| | C 統廃合・休止・終了 |
| | 事業規模の方向性 |
| | A 事業拡大 |
| B 現状維持 | |
| C 事業縮小 | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-4

| | | | | | | |
|----------|------|----------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 03 | 03 | 01 |
| 細事業名 | | 乳児保育委託事業 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井 一弘 |
| 担当者の氏名 | 友松 尚文 |

| PLAN | |
|------------------|--|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 1 子育てと仕事の両立支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 乳児保育の受入促進のため、民間認可保育所に保育の委託を行う。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 保育ニーズに対応し、待機児童の発生を防ぐ事で、子育てと仕事の両立を支援する |

| DO | |
|-------------|---|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 保育に欠ける乳児の入所希望に対応するため、民間認可保育所1箇所年間延べ455名を受け入れ、子育てと仕事の両立を支援した。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 就労状況の変化等により、低年齢児の入所希望者が増加するなか、また新たに産休明けニーズに対応するなど、待機児童の解消につながるものであった。 【入所延べ児童数】0歳児:143人 1歳児:165人 2歳児:147人 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|----|--------|---------|-----------|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| | 13 | 66,953 | 国庫支出金 | 保育所運営費負担金 | 28,214 |
| | | | 府支出金 | 保育所運営費負担金 | 14,107 |
| | | | 起債 | | |
| | | | 分担金・負担金 | 保育料 | 10,242 |
| | | | その他 | | |
| | | | 一般財源 | | 14,390 |
| 事業費合計 | | 66,953 | 合計 | | 66,953 |

| CHECK | | | | |
|-----------------------|--|-----------------|-----------------------------------|-----------------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 乳児保育希望に対し、待機児童を生じることなく、対応ができた。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 乳児保育希望に対し、待機児童を生じることなく、対応ができた。 | ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) |
| ○ 進捗している(できている) | 理由 乳児保育希望に対し、待機児童を生じることなく、対応ができた。 | | | |
| ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | |
| ○ × 遅れている(できていない) | | | | |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 乳児保育委託料は、国の示す保育所運営費によるため。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 乳児保育委託料は、国の示す保育所運営費によるため。 | ○ ▲ 少し削減の余地があった |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 乳児保育委託料は、国の示す保育所運営費によるため。 | | | |
| ○ ▲ 少し削減の余地があった | | | | |
| ○ × 削減の余地があった | | | | |

| ACTION | | | | | | | |
|--------|--|---|--------|---|--|----------|--|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 保育ニーズの拡大に対応するため、当事業を継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table> | A | A 現状維持 | 理由 保育ニーズの拡大に対応するため、当事業を継続する必要がある。 | | B 内容の見直し | |
| A | A 現状維持 | 理由 保育ニーズの拡大に対応するため、当事業を継続する必要がある。 | | | | | |
| | B 内容の見直し | | | | | | |
| | C 統廃合・休止・終了 | | | | | | |
| 改善 | 事業規模の方向性 | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 乳児保育の要望は増加傾向にあり、体制整備とあわせ、事業を拡大する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table> | A | A 事業拡大 | 理由 乳児保育の要望は増加傾向にあり、体制整備とあわせ、事業を拡大する必要がある。 | | B 現状維持 | |
| A | A 事業拡大 | 理由 乳児保育の要望は増加傾向にあり、体制整備とあわせ、事業を拡大する必要がある。 | | | | | |
| | B 現状維持 | | | | | | |
| | C 事業縮小 | | | | | | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-5

| | | | | | | |
|----------|------|---------------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 03 | 03 | 02 |
| 細事業名 | | 乳児保育所保育事業等補助金 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井 一弘 |
| 担当者の氏名 | 友松 尚文 |

| PLAN | |
|------------------|--|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 1 子育てと仕事の両立支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 乳児保育・延長保育及び人材確保等事業の、円滑な運営体制整備に必要な経費として、補助金を交付する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) |

| DO | |
|-------------|--|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) ゆうかり乳児保育所において、年度途中における入所対応や、延長保育時間に対応する職員の配置、利用者の処遇向上に結びつける職員研修や第三者評価の受診などの人材確保等に係る事業を実施していただくことについて必要な経費を交付した。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 乳児の入所希望については、年度途中での入所希望が頻繁にあり、それらの受入れのために受入体制をあらかじめ整えておくことで円滑な入所手続きが推進できた。 21年度途中入所者数 9名(当初6名) |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|----|--------|---------|-----------|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| | 19 | 4,843 | 国庫支出金 | 次世代育成支援対策 | 946 |
| | | | 府支出金 | 乳児保育促進事業費 | 294 |
| | | | 起債 | | |
| | | | 分担金・負担金 | | |
| | | | その他 | 福祉施設人材確保 | 298 |
| | | | 一般財源 | | 3,305 |
| 事業費合計 | | 4,843 | 合計 | | 4,843 |

| CHECK | | | | | |
|---------------------|--|---|----|---|---------------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">乳児保育、延長保育の体制整備や人材育成等を行っていただき、円滑な運営体制に資することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 | 乳児保育、延長保育の体制整備や人材育成等を行っていただき、円滑な運営体制に資することができた。 | ▲ 少し遅れている(少しできていない) |
| ○ 進捗している(できている) | 理由 | 乳児保育、延長保育の体制整備や人材育成等を行っていただき、円滑な運営体制に資することができた。 | | | |
| ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | | |
| × 遅れている(できていない) | | | | | |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">体制整備のため、常に受入れ人材確保のために経費を生じるため削減の余地はないと判断した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 体制整備のため、常に受入れ人材確保のために経費を生じるため削減の余地はないと判断した。 | ▲ 少し削減の余地があった |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 体制整備のため、常に受入れ人材確保のために経費を生じるため削減の余地はないと判断した。 | | | |
| ▲ 少し削減の余地があった | | | | | |
| × 削減の余地があった | | | | | |

| ACTION | | | | | | | | |
|--------|---|----|--|----|--|--|----------|--|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">保育ニーズの拡大に対応するため、当事業を継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table> | A | A 現状維持 | 理由 | 保育ニーズの拡大に対応するため、当事業を継続する必要がある。 | | B 内容の見直し | |
| A | A 現状維持 | 理由 | 保育ニーズの拡大に対応するため、当事業を継続する必要がある。 | | | | | |
| | B 内容の見直し | | | | | | | |
| | C 統廃合・休止・終了 | | | | | | | |
| 改善 | 事業規模の方向性 | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">乳児保育等、多様な保育ニーズの要望は増加傾向にあり、体制整備とあわせ、事業を拡大する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table> | A | A 事業拡大 | 理由 | 乳児保育等、多様な保育ニーズの要望は増加傾向にあり、体制整備とあわせ、事業を拡大する必要がある。 | | B 現状維持 | |
| A | A 事業拡大 | 理由 | 乳児保育等、多様な保育ニーズの要望は増加傾向にあり、体制整備とあわせ、事業を拡大する必要がある。 | | | | | |
| | B 現状維持 | | | | | | | |
| | C 事業縮小 | | | | | | | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-9

| | | | | | | |
|----------|--------------|---------|---------|---------|----------|-----------|
| 平成21年度予算 | 会計名称 一般会計 | 款 03 | 項 01 | 目 01 | 事業 11 | 細事業 01 |
| 細事業名 | 出産祝金事業 | | | | | |

| | |
|----------------|------------------|
| 担当部局 市民部 | 担当課長の氏名 平井 一弘 |
| 担当課等 子ども未来課 | 担当者の氏名 野村 夕子 |

| PLAN | |
|-----------------------------|--|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 2 子どもの健やかな成長支援 |
| 事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか) | 定住人口の増加と、活力にあふれるまちづくりを促進するため。 |
| 事業の目的 | 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) |

| DO | |
|---|--|
| 平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか) | 第3子以降の出生について、1子につき50,000円を支給した。給付対象者は80人で給付総額は4,000千円。 |
| 平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) | 少子化がすすむなか、多子家庭に援助ができることと出生率の低下に歯止めをかける一助となった。 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|----|--------|---------|----|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| | 20 | 4,000 | 国庫支出金 | | |
| | | | 府支出金 | | |
| | | | 起債 | | |
| | | | 分担金・負担金 | | |
| | | | その他 | | |
| | | | 一般財源 | | 4,000 |
| 事業費合計 | | 4,000 | 合計 | | 4,000 |

| CHECK | | | | |
|---------------------|--|-----------------|--|---------------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 出生率の低下による。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 出生率の低下による。 | ▲ 少し遅れている(少しできていない) |
| ○ 進捗している(できている) | 理由 出生率の低下による。 | | | |
| ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | |
| × 遅れている(できていない) | | | | |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 1子につき50,000円の支給は、「定住人口の増加をはかる」という観点において、他市町村の給付額と比較しても高額とはいえない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 1子につき50,000円の支給は、「定住人口の増加をはかる」という観点において、他市町村の給付額と比較しても高額とはいえない。 | ▲ 少し削減の余地があった |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 1子につき50,000円の支給は、「定住人口の増加をはかる」という観点において、他市町村の給付額と比較しても高額とはいえない。 | | | |
| ▲ 少し削減の余地があった | | | | |
| × 削減の余地があった | | | | |

| ACTION | | | |
|--------|--|--|-----------------------------------|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>C</td> <td>A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了</td> <td>理由 子ども手当の創設に伴い、子育て支援にかかる給付が増額となること、また、補助金の見直しの観点と市民活体力推進プロジェクト事業補助金交付要綱の対象事業に新たに少子化対策に関する事業を追加することとしたため。</td> </tr> </table> | C | A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 |
| C | A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 | 理由 子ども手当の創設に伴い、子育て支援にかかる給付が増額となること、また、補助金の見直しの観点と市民活体力推進プロジェクト事業補助金交付要綱の対象事業に新たに少子化対策に関する事業を追加することとしたため。 | |
| 改善 | 事業規模の方向性 | | |
| | <table border="1"> <tr> <td></td> <td>A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小</td> <td>理由</td> </tr> </table> | | A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 |
| | A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 | 理由 | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-10

| | | | | | | |
|----------|------|-------------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 01 | 03 | 01 |
| 細事業名 | | 次世代育成支援対策事業 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井一弘 |
| 担当者の氏名 | 金盛俊幸 |

| PLAN | |
|------------------|--|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 2 子どもの健やかな成長支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される社会の形成を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 22年度から26年度までの5年間の計画である次世代育成支援対策行動計画(後期)に定めた目標値を目指して事業を実施する。 |

| DO | |
|-------------|--|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 次世代育成支援対策行動計画(後期)を策定し、26年度までの子育て支援施策目標等を示すことができた。 小学校3年生までの子どもを持つ保護者全員に子育て情報誌2誌を配布し、病気の時の対応方法や、各種相談や市及び京都府などの子育て支援施策の紹介を行うことができた。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 26年度までの市の子育て支援の推進方向等を具体的に示すことができた。 子育て情報誌(キッズナビ・病院に行く前に)の配布により子育て家庭への支援に繋がった。 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|----|--------|------|---------|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| 予算科目 | 9 | 2 | 財源内訳 | 国庫支出金 | |
| | 11 | 535 | | 府支出金 | |
| | 13 | 2,100 | | 起債 | |
| | 23 | 459 | | 分担金・負担金 | |
| | | | その他 | | |
| | | | | | |
| | | | 一般財源 | 3,096 | |
| 事業費合計 | | 3,096 | 合計 | | 3,096 |

| CHECK | | | | | |
|---------------------|--|---|----|---|---------------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">次世代育成支援対策行動計画(後期)の策定により、26年度までの子育て支援施策目標等を示すことができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 | 次世代育成支援対策行動計画(後期)の策定により、26年度までの子育て支援施策目標等を示すことができた。 | ▲ 少し遅れている(少しできていない) |
| ○ 進捗している(できている) | 理由 | 次世代育成支援対策行動計画(後期)の策定により、26年度までの子育て支援施策目標等を示すことができた。 | | | |
| ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | | |
| × 遅れている(できていない) | | | | | |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">計画書の策定業務を業者委託したため削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 計画書の策定業務を業者委託したため削減の余地はなかった。 | ▲ 少し削減の余地があった |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 計画書の策定業務を業者委託したため削減の余地はなかった。 | | | |
| ▲ 少し削減の余地があった | | | | | |
| × 削減の余地があった | | | | | |

| ACTION | | | | | | | | |
|--------|---|----|---|----|---|--|----------|--|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">子育てと仕事の調和の実現に向けて、地域の企業や関係機関・団体等との連携・協力のもと、地域の実情や特性などをふまえ、地域に根ざしたワークライフバランスのあり方を模索し進めていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table> | A | A 現状維持 | 理由 | 子育てと仕事の調和の実現に向けて、地域の企業や関係機関・団体等との連携・協力のもと、地域の実情や特性などをふまえ、地域に根ざしたワークライフバランスのあり方を模索し進めていく必要がある。 | | B 内容の見直し | |
| A | A 現状維持 | 理由 | 子育てと仕事の調和の実現に向けて、地域の企業や関係機関・団体等との連携・協力のもと、地域の実情や特性などをふまえ、地域に根ざしたワークライフバランスのあり方を模索し進めていく必要がある。 | | | | | |
| | B 内容の見直し | | | | | | | |
| | C 統廃合・休止・終了 | | | | | | | |
| 改善 | 事業規模の方向性 | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">次世代育成支援対策行動計画(後期計画)に沿って、さらに推進することが重要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table> | A | A 事業拡大 | 理由 | 次世代育成支援対策行動計画(後期計画)に沿って、さらに推進することが重要である。 | | B 現状維持 | |
| A | A 事業拡大 | 理由 | 次世代育成支援対策行動計画(後期計画)に沿って、さらに推進することが重要である。 | | | | | |
| | B 現状維持 | | | | | | | |
| | C 事業縮小 | | | | | | | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-11

| | | | | | | |
|----------|------|------------------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 01 | 03 | 01 |
| 細事業名 | | 次世代育成支援対策事業(繰越分) | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井 一弘 |
| 担当者の氏名 | 金盛 俊幸 |

| PLAN | |
|------------------|---|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 2 子どもの健やかな成長支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される社会の形成を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 次世代育成支援対策行動計画における目標値を達成する。 |
| 平成26年度事業の効果目標 | |

| DO | |
|-------------|--|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 次世代育成支援対策推進法に基づき、平成21年度に次世代育成支援対策行動計画(後期計画)の策定を行うにあたり、子育て家庭に対する意識調査を行う必要があり、就学前児童世帯 950世帯、小学校1年生から小学校3年生の児童世帯 550世帯を無作為に抽出し、生活実態や保育ニーズを把握するためのアンケート調査を行い、報告書を作成した。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 次世代育成支援対策行動計画(後期計画)策定にあたり、子ども未来まちづくり審議会において策定にかかる審議資料として有効に活用することができた。 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|----|--------|---------|----|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| | 13 | 951 | 国庫支出金 | | |
| | | | 府支出金 | | |
| | | | 起債 | | |
| | | | 分担金・負担金 | | |
| | | | その他 | | |
| | | | 一般財源 | | 951 |
| 事業費合計 | | 951 | 合計 | | 951 |

| CHECK | | | | |
|-----------------------|--|-----------------|-------------------------------------|-----------------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 次世代育成支援対策行動計画(後期計画)に反映させることができた。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 次世代育成支援対策行動計画(後期計画)に反映させることができた。 | ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) |
| ○ 進捗している(できている) | 理由 次世代育成支援対策行動計画(後期計画)に反映させることができた。 | | | |
| ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | |
| ○ × 遅れている(できていない) | | | | |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 集計業務を業者委託したため削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 集計業務を業者委託したため削減の余地はなかった。 | ○ ▲ 少し削減の余地があった |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 集計業務を業者委託したため削減の余地はなかった。 | | | |
| ○ ▲ 少し削減の余地があった | | | | |
| ○ × 削減の余地があった | | | | |

| ACTION | | |
|--------|-------------|----|
| 改善 | 事業内容の方向性 | |
| | A 現状維持 | 理由 |
| | B 内容の見直し | |
| | C 統廃合・休止・終了 | |
| | 事業規模の方向性 | |
| | A 事業拡大 | 理由 |
| B 現状維持 | | |
| C 事業縮小 | | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-12

| | | | | | | |
|----------|------|------------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 01 | 04 | 01 |
| 細事業名 | | 家庭子ども相談室事業 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井一弘 |
| 担当者の氏名 | 赤松 栄 |

| PLAN | |
|------------------|--|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 2 子どもの健やかな成長支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 家庭における適正な児童の養育及び家庭児童の福祉の向上を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 児童の適正な養育、家庭での福祉の向上を目指す。 |

| DO | |
|-------------|--|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 18歳までの児童とその家庭が対象であり、課題のある児童、家庭への相談援助活動・訪問指導等の実施、要保護児童対策地域協議会による関係機関の連携・支援・指導の実施。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 子育て力の弱い世帯への応援、養育支援、適正な養護への指導、不登校児・家族への支援等とともに、関係機関と一緒に児童の福祉向上に寄与することができた。 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|----|--------|---------|------------|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| 予算科目 | 8 | 100 | 国庫支出金 | 次世代育成対策交付金 | 95 |
| | 9 | 45 | 府支出金 | | |
| | 11 | 35 | 起債 | | |
| | 19 | 10 | 分担金・負担金 | | |
| | | | その他 | | |
| | | | 一般財源 | | 95 |
| 事業費合計 | | 190 | 合計 | | 190 |

| CHECK | | | | | |
|---------------------|---|--|----|--|---------------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">家庭子ども相談室の周知、要保護児童対策地域協議会のより良い運営に繋がりが子育て支援に繋がってきている。 支援実施児童数:207人 (内、年度内新規:110人) ケース会議:102回 実務者会議:7回 代表者会議:1回</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 | 家庭子ども相談室の周知、要保護児童対策地域協議会のより良い運営に繋がりが子育て支援に繋がってきている。 支援実施児童数:207人 (内、年度内新規:110人) ケース会議:102回 実務者会議:7回 代表者会議:1回 | ▲ 少し遅れている(少しできていない) |
| ○ 進捗している(できている) | 理由 | 家庭子ども相談室の周知、要保護児童対策地域協議会のより良い運営に繋がりが子育て支援に繋がってきている。 支援実施児童数:207人 (内、年度内新規:110人) ケース会議:102回 実務者会議:7回 代表者会議:1回 | | | |
| ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | | |
| × 遅れている(できていない) | | | | | |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">出来る限り削減しており、研鑽費・必要事務用品費・負担金のみである。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 出来る限り削減しており、研鑽費・必要事務用品費・負担金のみである。 | ▲ 少し削減の余地があった |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 出来る限り削減しており、研鑽費・必要事務用品費・負担金のみである。 | | | |
| ▲ 少し削減の余地があった | | | | | |
| × 削減の余地があった | | | | | |

| ACTION | | | | | | | | |
|--------|--|----|--|----|--|--|----------|--|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">児童家庭問題・虐待・不登校等子どもを巡る課題は増加しており、子育て力の低い世帯も多いなか、継続支援は必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table> | A | A 現状維持 | 理由 | 児童家庭問題・虐待・不登校等子どもを巡る課題は増加しており、子育て力の低い世帯も多いなか、継続支援は必要である。 | | B 内容の見直し | |
| A | A 現状維持 | 理由 | 児童家庭問題・虐待・不登校等子どもを巡る課題は増加しており、子育て力の低い世帯も多いなか、継続支援は必要である。 | | | | | |
| | B 内容の見直し | | | | | | | |
| | C 統廃合・休止・終了 | | | | | | | |
| 改善 | 事業規模の方向性 | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">上記の状況から、現状での対応に限界があり、家庭児童の福祉の向上のためには人的支援の拡大・体制の充実が望ましい。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table> | A | A 事業拡大 | 理由 | 上記の状況から、現状での対応に限界があり、家庭児童の福祉の向上のためには人的支援の拡大・体制の充実が望ましい。 | | B 現状維持 | |
| A | A 事業拡大 | 理由 | 上記の状況から、現状での対応に限界があり、家庭児童の福祉の向上のためには人的支援の拡大・体制の充実が望ましい。 | | | | | |
| | B 現状維持 | | | | | | | |
| | C 事業縮小 | | | | | | | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-14

| | | | | | | |
|----------|------|----------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 02 | 01 | 01 |
| 細事業名 | | 児童手当支給事業 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井 一弘 |
| 担当者の氏名 | 野村 夕子 |

| PLAN | |
|------------------|---|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 2 子どもの健やかな成長支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を目指す。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) |
| 事業の目的 | 平成26年度事業の効果目標 |

| DO | |
|-------------|--|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 12歳到達最初の3月31日までの間にある児童を養育している方を対象に手当を支給(所得制限あり)。※3歳未満の児童一律10,000円(月額)、3歳以上の児童第1子及び第2子5,000円(月額)、第3子以降10,000円(月額) |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 受給可能な対象者に確実に児童手当を支給することで、その目的の達成とさらには少子化対策としての効果をもたらした。 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|----|---------|---------|---------|---------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| | 9 | 0 | 国庫支出金 | 児童手当負担金 | 196,384 |
| | 11 | 117 | 府支出金 | 児童手当負担金 | 127,860 |
| | 12 | 708 | 起債 | | |
| | 20 | 454,335 | 分担金・負担金 | | |
| | 23 | 880 | その他 | | |
| | | | 一般財源 | | 131,796 |
| 事業費合計 | | 456,040 | 合計 | | 456,040 |

| CHECK | | | | | | |
|---|---|-----------------|---|--|--|-----------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">社会経済状況及び家庭環境の変化に伴い、子育てを行う家庭の現金給付に対するニーズは今後さらに強まることが考えられるため適切な運用を図る必要がある。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 | 社会経済状況及び家庭環境の変化に伴い、子育てを行う家庭の現金給付に対するニーズは今後さらに強まることが考えられるため適切な運用を図る必要がある。 | ▲ 少し遅れている(少しできていない) | × 遅れている(できていない) |
| | ○ 進捗している(できている) | 理由 | | | 社会経済状況及び家庭環境の変化に伴い、子育てを行う家庭の現金給付に対するニーズは今後さらに強まることが考えられるため適切な運用を図る必要がある。 | |
| | ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | | |
| × 遅れている(できていない) | | | | | | |
| 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">手当の額は国の施策として定められている。昨年度においては、支払通知の方法を見直し、経費削減にもつながった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 手当の額は国の施策として定められている。昨年度においては、支払通知の方法を見直し、経費削減にもつながった。 | ▲ 少し削減の余地があった | × 削減の余地があった | |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 | | | 手当の額は国の施策として定められている。昨年度においては、支払通知の方法を見直し、経費削減にもつながった。 | | |
| ▲ 少し削減の余地があった | | | | | | |
| × 削減の余地があった | | | | | | |

| ACTION | | | |
|--------|-------------|----|--------------------------|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | |
| | A 現状維持 | 理由 | 平成22年度からは「子ども手当」として支給する。 |
| | C B 内容の見直し | | |
| | C 統廃合・休止・終了 | | |
| | 事業規模の方向性 | | |
| | A 事業拡大 | 理由 | |
| B 現状維持 | | | |
| C 事業縮小 | | | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-15

| | | | | | | |
|----------|-------------|-----------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計(明許繰越費) | 03 | 02 | 02 | 04 | 01 |
| 細事業名 | | 子育て応援特別手当 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井 一弘 |
| 担当者の氏名 | 野村 夕子 |

| PLAN | |
|------------------|--|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 2 子どもの健やかな成長支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 現下の厳しい経済情勢における多子世帯の子育ての支援に資すること。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) |

| DO | |
|-------------|--|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 子育て応援特別手当として、小学校就学前3年間に第2子以降の子一人当たり36,000円を支給。支給対象とした児童数920人、支給額33,120,000円。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 受給可能な対象者に確実に手当を支給することで、その目的の達成を図ることができた。 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|----|--------|---------|--------------|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| 財源内訳 | 3 | 40 | 国庫支出金 | 子育て応援特別手当交付金 | 34,180 |
| | 9 | 0 | 府支出金 | | |
| | 11 | 156 | 起債 | | |
| | 12 | 197 | 分担金・負担金 | | |
| | 13 | 668 | その他 | | |
| | 19 | 33,120 | | | |
| 事業費合計 | | 34,181 | 合計 | | 34,181 |
| | | | 一般財源 | | 1 |

| CHECK | | | | | | | | |
|-------|---|----|---|----|---|---|-------------------|---|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">子育てを行う家庭の現金給付に対するニーズは高いことから、対象となる世帯に漏れなく支給できたことは、その目的の達成を図ることができたものとする。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ | 進捗している(できている) | 理由 | 子育てを行う家庭の現金給付に対するニーズは高いことから、対象となる世帯に漏れなく支給できたことは、その目的の達成を図ることができたものとする。 | ▲ | 少し遅れている(少しできていない) | × |
| ○ | 進捗している(できている) | 理由 | 子育てを行う家庭の現金給付に対するニーズは高いことから、対象となる世帯に漏れなく支給できたことは、その目的の達成を図ることができたものとする。 | | | | | |
| ▲ | 少し遅れている(少しできていない) | | | | | | | |
| × | 遅れている(できていない) | | | | | | | |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">手当の額は国の施策として定められている。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ | 削減の余地がなかった | 理由 | 手当の額は国の施策として定められている。 | ▲ | 少し削減の余地があった | × |
| ○ | 削減の余地がなかった | 理由 | 手当の額は国の施策として定められている。 | | | | | |
| ▲ | 少し削減の余地があった | | | | | | | |
| × | 削減の余地があった | | | | | | | |

| ACTION | | | | |
|--------|----------|-----------------------------------|----|-------------------------------------|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | | |
| | C | A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 | 理由 | 今回(平成21年度支給分)限りの事業であるため、今後の実施予定はない。 |
| | 事業規模の方向性 | | | |
| | C | A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 | 理由 | 今回(平成21年度支給分)限りの事業であるため、今後の実施予定はない。 |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-16

| | | | | | | |
|----------|------|---------------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 03 | 07 | 01 |
| 細事業名 | | 児童発達支援パイロット事業 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井一弘 |
| 担当者の氏名 | 山下初乃 |

| PLAN | |
|------------------|--|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 2 子どもの健やかな成長支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 子ども達の成長・発達にみられる様々な課題を克服するため、保育所における先進的な取り組みや研究活動を支援する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) |
| 事業の目的 | 子ども達の成長・発達にみられる様々な課題を克服するため、保育所における先進的な取り組みや研究活動を支援する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) |

| DO | |
|-------------|---|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 子どもをめぐり社会・家庭状況の急激な変化により、子どもたちの成長・発達にみられる様々な課題を克服するために行った、保育所における先進的な取り組みや研究活動の4事業をモデル事業として支援した。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) こども同士の育ちあいの手助けや保護者・保育者の意識の向上、また心身の健康づくりや子どもたちの優しい心を育む一助とすることができた。 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|----|--------|---------|----|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| | 8 | 67 | 国庫支出金 | | |
| | 11 | 24 | 府支出金 | | |
| | 18 | 40 | 起債 | | |
| | | | 分担金・負担金 | | |
| | | | その他 | | |
| | | | 一般財源 | | 131 |
| 事業費合計 | | 131 | 合計 | | 131 |

| CHECK | | | | |
|-----------------------|---|-----------------|------------------------|-----------------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 モデル事業としての役割を果たせた。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 モデル事業としての役割を果たせた。 | ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) |
| ○ 進捗している(できている) | 理由 モデル事業としての役割を果たせた。 | | | |
| ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | |
| ○ × 遅れている(できていない) | | | | |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 費用をかけずに実施できるよう努力した。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 費用をかけずに実施できるよう努力した。 | ○ ▲ 少し削減の余地があった |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 費用をかけずに実施できるよう努力した。 | | | |
| ○ ▲ 少し削減の余地があった | | | | |
| ○ × 削減の余地があった | | | | |

| ACTION | | | | |
|-------------|---|----------|----------------------------------|----------|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>C A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 4年間の事業実施の取り組みを受け、通常保育の中で実施する。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table> | C A 現状維持 | 理由 4年間の事業実施の取り組みを受け、通常保育の中で実施する。 | B 内容の見直し |
| C A 現状維持 | 理由 4年間の事業実施の取り組みを受け、通常保育の中で実施する。 | | | |
| B 内容の見直し | | | | |
| C 統廃合・休止・終了 | | | | |
| 改善 | 事業規模の方向性 | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table> | A 事業拡大 | 理由 | B 現状維持 |
| A 事業拡大 | 理由 | | | |
| B 現状維持 | | | | |
| C 事業縮小 | | | | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-17

| | | | | | | |
|----------|------|---------------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 03 | 09 | 01 |
| 細事業名 | | 「森の保育所」活動推進事業 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井一弘 |
| 担当者の氏名 | 山下初乃 |

| PLAN | |
|------------------|---|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 2 子どもの健やかな成長支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 子どもたちが心身共にたくましく豊かに育つよう、自然豊かな野間地域で自然体験を盛り込んだ保育を実施。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) |

| DO | |
|-------------|---|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 弥栄地域の保育所児童(5歳児)を対象に、自然豊かな野間地域で自然体験を盛り込んだ園外保育を実施した。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 普段触れることが少ない自然環境の中で行った散歩や遊びによって、子どもたちが自然のすばらしさを実感し、新たな発見を見出すことができた。 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|----|--------|---------|-------|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| 予算科目 | 8 | 10 | 財源内訳 | 国庫支出金 | |
| | 11 | 120 | | 府支出金 | |
| | 13 | 17 | | 起債 | |
| | | | 分担金・負担金 | | |
| | | | その他 | | |
| | | | 一般財源 | 147 | |
| 事業費合計 | | 147 | 合計 | | 147 |

| CHECK | | | | | |
|---------------------|---|----------------------------|----|----------------------------|---------------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">感染症の流行により、事業実施ができない場合があった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 | 感染症の流行により、事業実施ができない場合があった。 | ▲ 少し遅れている(少しできていない) |
| ○ 進捗している(できている) | 理由 | 感染症の流行により、事業実施ができない場合があった。 | | | |
| ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | | |
| × 遅れている(できていない) | | | | | |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">費用節減に努め実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 費用節減に努め実施した。 | ▲ 少し削減の余地があった |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 費用節減に努め実施した。 | | | |
| ▲ 少し削減の余地があった | | | | | |
| × 削減の余地があった | | | | | |

| ACTION | | | |
|--------|-------------|----|-----------------------|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | |
| | A 現状維持 | 理由 | 通常保育の中で包含する取組みとして実施する |
| | C B 内容の見直し | | |
| | C 統廃合・休止・終了 | | |
| | 事業規模の方向性 | | |
| | A 事業拡大 | 理由 | |
| B 現状維持 | | | |
| C 事業縮小 | | | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-20

| | | | | | | |
|----------|------|-------------------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 01 | 05 | 01 |
| 細事業名 | | ファミリー・サポート・センター事業 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井 一弘 |
| 担当者の氏名 | 野村 夕子 |

| PLAN | |
|------------------|---|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 3 地域における子育ての支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 相互援助活動の促進を図り、地域の中で子育てがしやすい環境をつくる。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 会員数の増加及び運営主体を非営利組織等に委託 おねがい会員 180人 両方会員 60人 まかせて会員 60人 計 300人 |

| DO | |
|-------------|---|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 子どもの預かりなどの援助を受けることを希望する人(おねがい会員)と、当該援助を行なうことを希望する人(まかせて会員)との相互援助活動を組織化し、地域における子育ての基盤の形成を図った。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 事業趣旨の理解が進み、会員数は増加しているが、地域により偏りが見受けられることから、さらに事業や活動のPRにつとめる必要がある。会員数:おねがい会員64人(前年度35人)まかせて会員38人(前年度30人)両方会員11人(前年度8人) |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|----|--------|---------|------------|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| 予算科目 | 7 | 990 | 国庫支出金 | 次世代育成対策交付金 | 657 |
| | 8 | 5 | 府支出金 | | |
| | 9 | 32 | 起債 | | |
| | 11 | 190 | 分担金・負担金 | | |
| | 12 | 45 | その他 | | |
| | 19 | 53 | | | |
| | | | 一般財源 | | 658 |
| 事業費合計 | | 1,315 | 合計 | | 1,315 |

| CHECK | | | | | |
|---------------------|--|---|----|---|---------------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">21年度内において活動の周知を図り、大幅な会員の増加に努めた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 | 21年度内において活動の周知を図り、大幅な会員の増加に努めた。 | ▲ 少し遅れている(少しできていない) |
| ○ 進捗している(できている) | 理由 | 21年度内において活動の周知を図り、大幅な会員の増加に努めた。 | | | |
| ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | | |
| × 遅れている(できていない) | | | | | |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">多方面にわたる多様なニーズにこたえていくため、事業の充実を図るうえで妥当であると考え。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 多方面にわたる多様なニーズにこたえていくため、事業の充実を図るうえで妥当であると考え。 | ▲ 少し削減の余地があった |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 多方面にわたる多様なニーズにこたえていくため、事業の充実を図るうえで妥当であると考え。 | | | |
| ▲ 少し削減の余地があった | | | | | |
| × 削減の余地があった | | | | | |

| ACTION | | | |
|--------|-------------|----|--|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | |
| | A 現状維持 | 理由 | 安心して子育てが出来る環境を維持し、広げていくために、有効な手段であり継続していく必要がある。また、運営を民間組織に移行(委託)させていくことを検討する必要がある。 |
| | B 内容の見直し | | |
| | C 統廃合・休止・終了 | | |
| | 事業規模の方向性 | | |
| | A 事業拡大 | 理由 | 地域の相互援助活動を促進していく手段として、活動の活性化を図る。 |
| B 現状維持 | | | |
| C 事業縮小 | | | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-21

| | | | | | | |
|----------|------|-------------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 03 | 04 | 01 |
| 細事業名 | | 子育て支援センター事業 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井一弘 |
| 担当者の氏名 | 金盛俊幸 |

| PLAN | |
|------------------|--|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 3 地域における子育ての支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 地域における子育て家庭に対して、相談事業、子育て講座の開催、リフレッシュ体操教室などの育児支援活動を通して、地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 地域に密着した子育て支援活動を推進するために事業の拡充が必要。 |

| DO | |
|-------------|--|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより、子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションを図った。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内6子育て支援センターで年間延べ、保護者9,873名・児童12,068名が利用しており、地域に密着した子育て支援の推進につながった。 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | |
|-------|------|--------|---------|----------------------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 金額(千円) |
| 財源内訳 | 4 | 28 | 国庫支出金 | |
| | 7 | 7,869 | 府支出金 | 地域子育て支援センター補助金 4,214 |
| | 8 | 265 | 起債 | |
| | 9 | 51 | 分担金・負担金 | |
| | 11 | 584 | その他 | |
| | 12 | 246 | | |
| | 14 | 473 | | |
| | #### | 296 | 一般財源 | 5,598 |
| 事業費合計 | | 9,812 | 合計 | 9,812 |

| CHECK | | | | | |
|---------------------|--|--|----|--|---------------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">利用登録希望が多いことから、事業規模や内容を拡充することが必要</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 | 利用登録希望が多いことから、事業規模や内容を拡充することが必要 | ▲ 少し遅れている(少しできていない) |
| ○ 進捗している(できている) | 理由 | 利用登録希望が多いことから、事業規模や内容を拡充することが必要 | | | |
| ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | | |
| × 遅れている(できていない) | | | | | |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">利用者ニーズとして利用回数の増加があり、伴って箇所増設を図ることが必要である</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 利用者ニーズとして利用回数の増加があり、伴って箇所増設を図ることが必要である | ▲ 少し削減の余地があった |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 | 利用者ニーズとして利用回数の増加があり、伴って箇所増設を図ることが必要である | | | |
| ▲ 少し削減の余地があった | | | | | |
| × 削減の余地があった | | | | | |

| ACTION | | | |
|--------|-------------|----|---------------------------------|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | |
| | A 現状維持 | 理由 | 利用登録希望が多いことから、事業規模や内容を拡充することが必要 |
| | B 内容の見直し | | |
| | C 統廃合・休止・終了 | | |
| | 事業規模の方向性 | | |
| | A 事業拡大 | 理由 | 利用希望が多く、設置箇所数の増を図ることが必要 |
| B 現状維持 | | | |
| C 事業縮小 | | | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-22

| | | | | | | |
|----------|------|---------------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 03 | 08 | 01 |
| 細事業名 | | 子育てサポートセンター事業 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井一弘 |
| 担当者の氏名 | 金盛俊幸 |

| PLAN | |
|------------------|---|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 3 地域における子育ての支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 地域における子育て相談事業等の子育て支援センターの補完的業務として行う 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) |

| DO | |
|-------------|---|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 子育て家庭に対して、保育所が保育に関する専門性を活かし、子育てにおける不安や悩みの相談事業や育児講座などの子育てサポート啓発事業を実施した。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 島津保育所子育てサポートセンター 親子85組 人数144人 相談3件 久美浜保育所子育てサポートセンター 親子102組 人数218人 相談24件 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|-----|--------|---------|------------------|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| | 8 | 148 | 国庫支出金 | | |
| | 11 | 53 | 府支出金 | | |
| | | | 起債 | | |
| | | | 分担金・負担金 | | |
| | | | その他 | 子育てサポートセンター事業補助金 | 163 |
| | | | 一般財源 | | 38 |
| 事業費合計 | 201 | 合計 | | 201 | |

| CHECK | | | | | |
|--|--|------------------------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 子育て支援センターの地域補完的な役割が果たせた。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> | ○ 進捗している(できている) | 理由 子育て支援センターの地域補完的な役割が果たせた。 | ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) | × 遅れている(できていない) |
| | ○ 進捗している(できている) | 理由 子育て支援センターの地域補完的な役割が果たせた。 | | | |
| | ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) | | | | |
| × 遅れている(できていない) | | | | | |
| 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 事業に対する補助が削減され、市の負担軽減を図った。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table> | ○ 削減の余地がなかった | 理由 事業に対する補助が削減され、市の負担軽減を図った。 | ▲ 少し削減の余地があった | × 削減の余地があった | |
| ○ 削減の余地がなかった | 理由 事業に対する補助が削減され、市の負担軽減を図った。 | | | | |
| ▲ 少し削減の余地があった | | | | | |
| × 削減の余地があった | | | | | |

| ACTION | | | | | |
|--|---|------------------------------------|------------------------------------|------------|-------------|
| 改善 | 事業内容の方向性 | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 公立保育所で行うサポートセンター事業が補助廃止されたため終了。</td> </tr> <tr> <td>C B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table> | A 現状維持 | 理由 公立保育所で行うサポートセンター事業が補助廃止されたため終了。 | C B 内容の見直し | C 統廃合・休止・終了 |
| | A 現状維持 | 理由 公立保育所で行うサポートセンター事業が補助廃止されたため終了。 | | | |
| | C B 内容の見直し | | | | |
| | C 統廃合・休止・終了 | | | | |
| | 事業規模の方向性 | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table> | A 事業拡大 | 理由 | B 現状維持 | C 事業縮小 | |
| A 事業拡大 | 理由 | | | | |
| B 現状維持 | | | | | |
| C 事業縮小 | | | | | |

平成22年度 事務事業評価

整理番号
18-23

| | | | | | | |
|----------|------|-------------|----|----|----|-----|
| 平成21年度予算 | 会計名称 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細事業 |
| | 一般会計 | 03 | 02 | 03 | 11 | 01 |
| 細事業名 | | 宇川統合保育所整備事業 | | | | |

| | |
|---------|--------|
| 担当部局 | 市民部 |
| 担当課等 | 子ども未来課 |
| 担当課長の氏名 | 平井 一弘 |
| 担当者の氏名 | 小石原 弘通 |

| PLAN | |
|------------------|--|
| 総合計画 (前期基本計画) | 基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 3 地域における子育ての支援 |
| 事業の目的 | (どのような目的で事業を実施するか) 保育需要が多様化する中、保育内容の充実を図るとともに、保育所運営の効率化を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) |
| 平成26年度事業の効果目標 | |

| DO | |
|-------------|---|
| 平成21年度事業の実績 | (何を対象に、何をしたか) 保育所再編等水深計画に基づき、宇川地域にある2保育所を上宇川保育所に統合整備するため、耐震補強や乳児棟増築などの大規模改修工事を実施し、また統合に伴い児童送迎用車両の配備や低年齢児保育実施のための保育備品調度などを行った。 |
| 平成21年度事業の効果 | (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 2保育所の統合により、低年齢児保育の実施や延長保育時間の拡充などによりニーズへの対応と運営経費の削減を図ることができた。また、統合による施設改修に伴い、建物の耐震補強など安全面における整備を行うことができた。 |

●平成21年度決算

| 予算科目 | 歳出 | | 歳入 | | |
|-------|----|--------|---------|-------|--------|
| | 節 | 金額(千円) | 項目 | 名称 | 金額(千円) |
| 財源内訳 | 11 | 144 | 国庫支出金 | | |
| | 12 | 206 | 府支出金 | | |
| | 13 | 3,717 | 起債 | | |
| | 15 | 89,551 | 分担金・負担金 | | |
| | 18 | 5,042 | その他 | 水道使用料 | 15 |
| | 22 | 55 | | | |
| | 27 | 25 | | | |
| 一般財源 | | | | | 98,725 |
| 事業費合計 | | 98,740 | 合計 | | 98,740 |

| CHECK | |
|-------|---|
| 評価 | 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか |
| | <input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 平成22年4月1日から統合保育所として順調に運営を行っている。 <input type="radio"/> × 遅れている(できていない) |
| 評価 | 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか |
| | <input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> ▲ 少し削減の余地があった 理由 改修工事の設計段階から、既存の建物や備品を可能な限り再利用できるよう努めた。 <input type="radio"/> × 削減の余地があった |

| ACTION | |
|--------|---|
| 改善 | 事業内容の方向性 |
| | <input type="radio"/> A 現状維持 <input checked="" type="radio"/> C B 内容の見直し 理由 事業は平成21年度で終了した。 <input type="radio"/> C 統廃合・休止・終了 |
| 改善 | 事業規模の方向性 |
| | <input type="radio"/> A 事業拡大 <input type="radio"/> B 現状維持 理由 <input type="radio"/> C 事業縮小 |